

公益社団法人 日本交通計画協会

平成25年度 第3回理事会議事録

1. 開催日時 平成26年6月20日（金） 10時00分より11時00分まで

2. 開催場所 公益社団法人 日本交通計画協会  
3階 A会議室

所在地：東京都文京区本郷3丁目23番1号

3. 理事現在数 7名  
監事現在数 2名

4. 出席理事数 5名

（出席理事）高橋洋二、中田康弘、岸井隆幸、川畑信之、飯塚義和

（欠席理事）石川次男、石川雅康

（出席監事）須原庸次、曾田祐司

5. 開 会

定刻に至り、事務局より開会が宣言され、本日の理事会は定款第32条第1項による定数を満たしたので、有効に成立したことが報告された。

代表理事 高橋洋二は定款第31条により本理事会の議長を務めることとなった。

6. 議事録署名人の選出

議事に先立ち、定款第34条により議事録署名人は次の四名となった。

- ・代表理事 高橋洋二
- ・代表理事 中田康弘
- ・監 事 曾田祐司
- ・監 事 須原庸次

## 7. 議題

本日の議題は次のとおりであることを確認した。

### 承認事項

- 第1号議案 平成26年度事業計画書の承認の件
- 第2号議案 平成26年度収支予算書の承認の件
- 第3号議案 入社希望者に対する入社承認の件

### 報告事項

- 報告第1 職務執行報告

## 8. 議事の経過及び議決の結果

承認事項として以下の議案について、承認を諮った。

### 第1号議案 平成26年度事業計画書の承認の件

議長は上記議案につき説明を求めた。代表理事中田康弘は、別掲議案書により、平成26年度の事業実施方針と、それに基づく具体的な事業計画について説明をした。平成26年度は、平成25年度とほぼ同様の事業を展開するものの、公益法人として公共交通に関する正しい知識のさらなる普及を図るため、これまでに蓄積した技術、ノウハウを活用し、従来実施していなかった形態、テーマの講習会、講演会等の開催を検討し、この分野の活動を一層充実させたいと述べた。

同議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(川畑理事) 事業計画に書かれている公益目的事業1や公益目的事業2などは、予算のどの部分で表れているのか。

(中田代表理事) 収支予算書の内訳表に事業ごとの予算が組み立てられており、それに該当する事業計画となる。

(岸井理事) 新たな講習会やセミナーは社員企業向けのものを考えているのか。

(中田代表理事) まずは、社員企業に向けてのミニセミナーを行う予定。

(高橋代表理事) 反響を見てから、一般向けについての議論が必要になると思う。一般向けにはインターネットでの告知などを行えば、幅広い層に向けて公益事業をアピールできるが、まずは社員企業に向けての新たな講習会やセミナーからスタートしたい。

(岸 井 理 事) 新たな講習会などでは会費は取るのか。

(中田代表理事) 無料で行い、公益的な活動を重視していく。最初は無料でスタートして、様子を見ていく予定。

(岸 井 理 事) 講習会やセミナーの具体的なテーマは決まっているのか。

(中田代表理事) 現在検討中。

(高橋代表理事) 交通計画や都市再生等のホットなテーマにできたらとは考えている。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、平成26年度事業計画書を承認した。

## 第2号議案 平成26年度収支予算書の承認の件

議長は上記議案につき説明を求めた。説明に先立ち、中田代表理事より、昨今の経済、社会情勢を考慮し、事業収入を現実的な事業量に見合った金額に修正し、前年に比較して少なく見積もっているものの、支出に関しては、この1年間の運営実績から、収入のマイナスを上回る削減が可能と見積もり、最終的には平成25年度並みの業績を確保できる見通しであることが報告された。その後、事務局より収支予算書の具体的な数値について説明を行った。同議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(飯 塚 理 事) 平成25年度の決算の実績もこのくらいの事業収益で進みそうか。

(中田代表理事) だいたいこの数値に近いだろうと想定している。平成24年度の決算状況が芳しくなかったため、まずは業績を回復させ、安定した経営によって今後公益事業の活動をより充実させるにあたって、長期的に活動資金についても確保していきたい。

(岸 井 理 事) 今までの運転資金に借入れなどはあったのか。

(中田代表理事) ありません。

(岸 井 理 事) 受託調査研究事業はすべて収益事業なのか。

(中田代表理事) 受託の内容によって、広く国民の利益につながるような公益的な内容であれば、それは公益事業として認められている。

(岸 井 理 事) 公益事業と収益事業の受託の比率は問題ないのか。

(中田代表理事) 問題ありません。

(高橋代表理事) 今後は公益事業と収益事業の取り組み方のバランスもう

まく考えていく。公益活動を活発化させるための資金を収益事業で確保しようとする、人手の関係で公益事業がおざなりになる恐れもあるし、公益事業のみに力を入れてもその活動資金がなければ、経営が立ち行かなくなる恐れもあるので、その活動のバランスも長期的に見て運営していきたい。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、平成26年度収支予算書を承認した。

### 第3号議案 入社希望者に対する入社承認の件

議長は上記議案につき説明を求めた。代表理事中田康弘は、別掲議案書により、住友商事株式会社、八千代エンジニアリング株式会社より入社希望が提出されていること、同社の会社概要、事業内容について説明をした。

両社とも以前加入していた企業であるが、社員規程第6条により、一度退社した社員が再入会するにあたっては、再加入の理由を記した書面を提出させた上で審査をし、再加入の意思を確認することとなっているため、両社より、住友商事株式会社については平成23年度、八千代エンジニアリング株式会社については平成10年度にやむなく退社したものの、最新の技術と知識、豊富な経験を活かして公共の福祉に貢献する協会の理念に賛同し、活動の意義を再認識するとともに、共に行動して社会に対する責任を果たしたいとの決意が表明された旨を報告した。

同議案説明に対して、次の質疑応答があった。

(岸井理事) 再加入の場合も入会金は納めてもらうのか。

(中田代表理事) 再加入の場合も初年度は入会金と会費を納めていただく。

(岸井理事) 年度の途中で退会した場合会費は返却されるのか。

(中田代表理事) お返し致しません。

議長は本議案につきこれを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決し、同社に対する入社を承認した。

報告事項として以下の議案について、報告を行った。

#### 報告第1 職務執行報告

議長は上記議案につき事務局より報告をさせた。代表理事中田康弘は、別掲議案書により公益法人移行後の中間報告として、刊行物発行业、講習会の開催、他機関への協力実施、受託調査研究の実績についての報告を行った。

同報告説明に対しての質疑応答は特になし。

議長は本報告に対しての質疑応答は特になく、議長は改めて議場に確認を求めたところ、全員異議なく報告を承認した。

#### その他の事項

議長は、今後の協会の業務内容等についての意見等を議場に諮ったところ、次の質疑応答があった。

(飯塚理事) 海外展開の事業についてはどの団体をターゲットにしていくかを考えるのが難しいところではないか。

(中田代表理事) 協会としては新交通やLRTをメインにしていきたいと考えている。社員企業と組んで一緒にやっていく。

(高橋代表理事) これまでの海外事業の展開をより積極的に取り組んでいきたいと考えている。

また事務局より、平成26年度第1回理事会を平成26年9月中旬頃に開催し、さらにその2週間後を目途に定時社員総会を開催したい旨を説明した。

理事・監事全員で協議したところ、平成26年度第1回理事会を平成26年9月11日(木)10時より、平成26年度定時社員総会を平成26年9月26日(金)16時30分よりそれぞれ開催することを決定した。

#### 9. 閉 会

以上をもって平成25年度第3回理事会の議事を終了したので、議長高橋洋二は、11時00分閉会を宣し解散した。

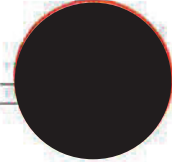
上記の議事を明確にするため本議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は下記に記名、押印する。

以 上

平成26年 6 月20日

公益社団法人 日本交通計画協会 平成25年度 第3回理事会

代表理事 高 橋 洋 二



代表理事 中 田 康 弘



監 事 曾 田 祐 司



監 事 須 原 庸 次

